

# まちのわだい

## 古民家で楽しむ西多久の春 <sup>あかり</sup>竹と灯とおひな様

YouTube で動画が見れます!

3/28[Sat]~4/1[Wed]



▲着物を利用した手作りひな人形



▲来場者は手作りのひな人形を楽しみました

市重要文化財のくど造り民家「森家住宅」で、西多久の春～竹と灯とおひな様～（主催：西多久町女性学級ひなの会、幡船の里、地域おこし協力隊）が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各種催しは取りやめとなりましたが、会場内は手書きの文字入りのれんや着物を解いて作られた200体以上のひな人形、船山で取れた竹などで飾り付けられ、幻想的な空間が作られていました。

唐津市からの来場者は「ひな人形が小さくてかわいらしく、風流でした。自分の着物でも作ってみたいです」と笑顔で話しました。

YouTube で動画が見れます!

3/31[Tue]

## 環境に優しいごみ処理施設 **クリーンヒル天山落成式**



多久市と小城市の共同ごみ処理施設として誕生した「クリーンヒル天山」の落成式を同施設で行いました。

株式会社エイト日本技術開発が施工監理を行い、三機・ミゾタ特定建設工事共同企業体など8事業者が施工を行いました。

天山地区共同環境組合の管理者である横尾俊彦市長は、「地元上揚地区のご協力と、携わっていただいたみなさんのお力添えのおかげで、順調に施工を完了できました。今後も万全の体制で施設運営に力を尽くし、両市民の生活にとって欠かすことのできない、一般ごみの処理を環境基準に則って適切に行います」と、感謝を述べました。



▲テープカットで新たな施設完成を祝いました

## ごみ回収の新たな拠点 **多久市リサイクルセンター出発式**

4/1[Wed]



▲安全を祈念して初の収集となる車両を見送りました

4月から本格稼働した「多久市リサイクルセンター」の出発式を同センターで行いました。

式で横尾俊彦市長は「市民のみなさんにリサイクルセンターを有効に活用していただきたい。また、職員には安全を考慮し、業務に専念してほしい」とあいさつしました。

センターは市内のごみ回収の拠点であるほか、ごみの減量化やリサイクルの推進を行います。市民のみなさんには、ごみの分別へのご協力を今後ともお願いします。

まちのわだい